

2017年2月14日

各 位

株式会社パム
オリックス自動車株式会社

「レンタカーに乗って、サンゴを増やそう」キャンペーン結果報告 沖縄県読谷村の海に“サンゴ178本”を移植 ～レンタカー利用料金の一部をサンゴ保全活動に～

株式会社パム（本社：沖縄県那覇市、社長：長嶺 由成）とオリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：亀井 克信）は、2016年7月1日から9月30日まで、売上の一部をサンゴの保全活動へ寄付する「レンタカーに乗って、サンゴを増やそう」キャンペーンを実施しました。このたび、キャンペーンによる寄付により養殖サンゴ 178 本の移植が決定しましたのでご報告します。

今回のキャンペーンは、期間中にパムが運営する沖縄旅行の予約サイト「たびらい沖縄」を通じて「オリックスレンタカー」のハイブリッドカーをご利用いただいた料金の一部を、両社が共同で、サンゴ移植活動に対する寄付金として提供するものです。サンゴ移植活動は、オリックスグループが取り組んでいる「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト『SANGO ORIX』」を通じて、有限会社海の種（沖縄県読谷村）により実施されます。

なお、本取り組みは今年で4回目となり、沖縄のサンゴの森を広げています。

<寄付金贈呈の様子>



左から、パム たびらい事業部 レンタカーチームマネージャー 岡 大輔、海の種 代表取締役 金城 浩二様、オリックス自動車 レンタカー営業本部 営業第三部長 竹松 康之

- 寄付金： 621,434 円（※昨年 469,000 円、一昨年 379,866 円）
- 寄付先：『SANGO ORIX』を通じて、有限会社海の種（沖縄県読谷村）へ寄付
- 寄付日： 2017年2月10日（金）
- 用 途：沖縄県読谷村海域における養殖サンゴ 178 本の移植活動
（※昨年 134 本、一昨年 108 本）

パムとオリックス自動車は、今後もサンゴの移植活動をはじめ、環境負荷低減に資するさまざまな社会貢献活動をサポートしてまいります。

以 上

< 昨年の寄付金で移植したサンゴの様子 >

昨年は、沖縄県読谷村海域へ養殖サンゴ 134 本を移植しました。



※「沖縄ツアーランド」は「たびらい沖縄」の旧名称です。

< 「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト『SANGO ORIX』」について >

オリックスグループでは、サンゴ礁が持つ高い生物多様性の保持能力を守り、美しい海を次の世代へ残すため、“国際サンゴ礁年”の 2008 年にいち早く「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト『SANGO ORIX』」を開始しました。プロジェクト開始以降、サンゴ 9600 本を移植し、現在も沖縄県の読谷村海域などでサンゴの移植活動を行っています。

< 株式会社パムについて >

株式会社パムは、旅行・レジャーに特化したメディアの創造・運営を通じて、地域への集客をサポートする企業です。現地から発信する国内旅行予約サイト「たびらい」、海外へ日本各地の魅力を伝える「Tabirai Japan」、沖縄県民のお出かけを応援するサイト「ちゅらとく」などを運営しています。

U R L : <https://www.pam.co.jp/>

※このリリースは、沖縄県政記者クラブ、自動車産業記者会に配付しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パム 広報企画

妻夫木・下地

TEL : 098-860-9504

オリックス株式会社 グループ広報部

矢崎・橋本

TEL : 03-3435-3167